

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕
- (2) 日本研究機関支援〔米州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 小渕フェローシップ（派遣）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕
- (5) 知的リーダー交流（派遣）〔米州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究組織強化支援 (助成) [米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 1,781,642 円

	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	カナダ日本研究学会	カナダ	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	日本研究に関するカナダ唯一の学際的な学会であるカナダ日本研究学会(JSAC)の2008年次総会『日本の最先端：近代日本のイノベーション』を支援。幹事校ウォータールー大学において2008年10月3日より3日間の日程(本会議部分)で開催。カナダ、米国、日本等から75名以上が参加。各地から集まった様々な専門を持つ日本研究者のネットワーキングの機会となった。

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究機関支援 [米州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 70,359,233 円

	機関	対象国	期間	事業内容
1	アメリカ・カナダ大学 連合日本研究センター	米国・カナダ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	米国・カナダの加盟大学により組織するコンソーシアム「アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター」が実施する日本専門家の養成を目的とした10カ月間の専門日本語研修事業。基金は同事業の一部（研修奨学金）を支援。平成20年度は参加した55名の大学院生に対し将来の専門活動に資する上級日本語教育研修を実施した。
2	京都アメリカ大学コン ソーシアム	米国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	全米14の加盟校による京都アメリカ大学コンソーシアムは、「京都上級・古典日本語サマープログラム」と題する、夏期短期集中日本語プログラムとして歴史的文献などの研究を行う学生・研究者を対象とした「古文コース」及び上級レベルの学生ニーズに応える「上級日本語コース」を計画した。初年度となる平成20年度は、準備年度として、宣伝活動、講師・授業内容の決定、宿泊施設の準備、受講者選抜等を実施。30名の定員に対して45名の応募があった。
3	ブリティッシュ・コロ ンビア大学	カナダ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	①同大学アジア学科主催により日本文学研究会第17回年次総会をバンクーバーにおいて3日間の日程で実施した。総会は4人のスピーカーによる12パネルと2名のキーノートスピーカーにより構成され、日本やアジアからも参加者を招いた。②同大学日本研究センター主催により、北米西岸6機関による情報交換を目的とするワークショップを実施した。米国からはハワイ大学、UCバークレー、ポートランド、UCLA、ワシントンの各大学の付属日本研究センター（又は日本研究学科）の代表が参加して、日本研究センター運営や日本研究の将来について議論を深めた。
4	エル・コレヒオ・デ・ メヒコ	メキシコ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	①研究会議助成：「第2回日墨教育改革シンポジウム」と題し、公教育の問題について比較分析を行う日墨二国間学術交流会議をメキシコシティにて2008年9月に開催した（3日間）。佐藤学（東京大学教授）、小国善弘（早大准教授）がゲストスピーカーとして招へいされ、日墨及び北米南米地域より計140名以上の協力者、参加者を得た。②修士課程学生訪日研修：修士学生7名と引率教員1名により、2008年6月14日から7月14日の日程で訪日し、東京、関西等を訪問して研究資料収集等の活動を行った。③日本研究分野の図書資料拡充支援（和書・洋書）を実施し、同大学の基盤整備を行った。
5	ハワイ大学マノア校	米国	2008.06.01 ~ 2009.05.31	「米国における沖縄研究」と題し、国際会議、出版、カリキュラム開発、教員研究、図書資料拡充等による3カ年の総合的な沖縄研究プログラムを開始。初年度の平成20年度は、沖縄研究国際シンポジウムを2009年3月に開催し、日米より主要参加者計41名、全体で200名が参加した。また、南米で開催された沖縄日系移民100周年事業に大学関係者が参加（2008年8月-9月）し人的ネットワークを構築した。また、沖縄関連図書資料の拡充を図った。

米州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
6	五大湖周辺私立大学連盟 (GLCA)	米国	2008.07.01 ~ 2009.03.31	五大湖周辺12私立大学によるコンソーシアムである五大湖周辺私立大学連盟 (GLCA) は、「米国リベラル・アーツ・カレッジによる現代日本への取り組み」と題し、様々な分野・教科の非日本専門教員に対する日本理解セミナーと訪日プログラムを実施し、各大学内における日本理解と日本関連講座の拡充を目指す3ヵ年事業を実施した。平成20年度は2週間の訪日研修事業を実施。5大学6分野より計9名が参加し、大阪、京都、広島、名古屋、東京を訪問し、テーマに沿った視察や関係者との意見交換を実施し、加盟大学間の人脈形成を図った。
7	北米日本研究資料調整協議会 (NCC)	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	「利用者中心の情報資源共有のための国籍を越えた戦略展開」と題し、北米日本研究資料調整協議会 (NCC) は、日本研究者向けの情報活用支援目的の各種事業を実施した。2008年度においては、「イメージ・ユーズ・プロトコル (画像利用規約)」「国際的な図書館相互貸借フレームワーク」「NCC教員フォーラム」「デジタルリソースワークショップ」等の事業を実施した。
8	モンタナ州立大学	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	同大学における文化人類学助教授ポストの新規創設のための給与支援 (給与・社会保障費の一部) を実施した。担当教員はヤマグチ・トモミであり、平成20年度は「日本の伝統と文化」「日本文化の愛と力のイメージ」など、日本の文化・社会に関連する計7コースを担当し、延べ239名の学生が受講した。
9	ミシシッピ大学	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	同大学における日本史分野の助教授ポストを新規創設するための給与支援 (給与・社会保障費の一部) を実施。担当教員はNoell H. Wilsonであり、平成20年度には、近代日本史など3コースを担当し、延べ52名の学生が受講した。
10	フロリダ国際大学	米国	2008.07.01 ~ 2009.06.30	同大学における社会学助教授ポストを新規創設するための給与支援 (給与・社会保障費の一部) を実施した。雇用教員はMatthew Marrであり、平成20年度において担当教員は、「日本の都市化問題」「ジェンダー問題」「高齢化社会の影響」「日本の外国人コミュニティ」など4講座を担当し、延べ61名の学生が受講した。
11	イリノイ大学	米国	2008.08.01 ~ 2009.07.31	「中西部日本研究セミナー」と題し、中西部地域の大学に所属する様々な分野の教員を対象とした日本研究セミナーを、域内大学が持ち回りで年5回行う事業。平成20年度は、歴史・文学・宗教・政治などをテーマとしたセミナーを5校において実施し、合計100名以上の参加者を集めた。
12	コロラド大学ボルダー校	米国	2008.08.01 ~ 2009.07.31	「日本研究大学院課程及び教員向けアウトリーチ事業の拡充」と題し、江戸文学・言語学・日本専門司書・歴史の教員ポスト新設とともに図書資料拡充を行い、新たに大学院博士課程の認可を目指すための3ヵ年事業を開始。初年度となる平成20年度は、基金の支援により、図書資料拡充、研究会議事業 (宗教、中世文学)、客員招へいによる日本講義、教員向け研修事業等の様々な拡充事業を実施した。

米州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
13	ケンタッキー大学	米国	2008.09.01 ~ 2009.06.30	「日本研究集中拡充プログラム」と題し、日本語及び視覚芸術の教員2ポスト新設により、全学部及び大学院の横断的な日本関連プログラム拡充をはかり、教員資格取得コース開設を通じて初中等教育への波及効果を目指す3カ年事業を開始。初年度となる平成20年度は次年度からの新規雇用教員の募集を開始し、古典文学の図書資料拡充を実施した。また、日本映画上映事業を行い学内外より400名以上の参加者を得た。
14	モントリオール大学	カナダ	2008.09.01 ~ 2009.05.31	日本研究修士課程設立を目指し、年々増加する日本語学習ニーズに対応するため、担当講師Jacynthe Tremblayの給与・社会保障費の一部を基金が支援し、日本語及び日本文化（歴史、文化、社会、映画、文学）に関する4講座を開講。延べ63名の学生が修了した。
15	バージニア大学	米国	2009.02.01 ~ 2009.06.30	「国際的な文脈における日本理解」と題し、歴史、メディア研究、人類学の3分野で教員ポストを拡充し、日本と世界の比較・関係に関する研究を深化させるため、対象分野の図書館資料を充実し、博士課程における研究者の育成と学部教育の充実を図るという3カ年事業を開始。初年度の平成20年度は歴史分野の新規教員の確保と歴史分野の図書資料拡充を実施した。
16	メキシコ工科大学	メキシコ	2009.02.01 ~ 2009.03.31	メキシコにおける日本研究の中核的機関として発展が期待されるメキシコ工科大学に対し、日本研究分野の図書資料拡充促進のため経費支援を行い、100点以上の日本研究関連資料（洋書）が拡充され同大学の日本研究基盤の整備に役立てられた。
17	グアダハラ大学 太平洋地域研究科	メキシコ	2009.02.01 ~ 2009.03.31	メキシコにおける日本研究の中核的機関として発展が期待されるグアダハラ大学太平洋地域研究科に対し、日本研究分野の図書資料（図書26点、DVD25点）を調達・送付し、同大学の日本研究基盤整備に役立てられた。
18	コリマ大学太平洋研究センター	メキシコ	2009.02.01 ~ 2009.03.31	メキシコにおける日本研究の中核的機関として発展が期待されるコリマ大学太平洋研究センターに対し、日本研究分野の図書資料（洋書32点）を調達・送付し、同大学の日本研究基盤整備に役立てられた。
19	サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部附属 日本文化研究所	ブラジル	2009.02.01 ~ 2009.03.31	ブラジルにおける日本研究の中核的機関として重要な、サンパウロ大学哲学文学人間科学部附属日本文化研究所に対する図書拡充支援として図書326点（和書、洋書）を寄贈し、同大学の日本研究分野の基盤整備を図った。
20	オレゴン大学	米国	2009.02.01 ~ 2009.12.31	オレゴン大学が実施する1カ年の調査及びプログラム開発プロジェクト「オレゴン日本語フラッグシップ事業：K-16日本語イマージョン教育モデルの開発」に対する支援を実施した。同事業は、全米K-12日本語教育イマージョンプログラムと同大学が連携し、連続性のあるK-16日本語教育プログラムとして高度な日本語学習者を対象とする教育プログラムを開発するというものであり、平成20年度はその事前調査とプログラム開発を実施した。
21	日本研究巡回セミナー アルバータ大学 コンコルディア大学 ライオンソン大学	カナダ	2009.03.01 ~ 2009.03.08	日本国内の研究者Jaqueline Berndt（横浜国立大学教育人間科学部准教授）、森川嘉一郎（明治大学国際日本学部准教授）をカナダに派遣し「アニメと現代日本社会」についてトロント、エドモントン及びモントリオールで講演会及びパネル・ディスカッションを実施。

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 小渕フェローシップ (派遣)

日米両国政府の合意に基づく「小渕沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受入機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行う沖縄県内の研究者等に対しフェローシップを支給する。

合計額 4,834,460 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	宮里 由紀子	(有) エグゼカティブリンク会長	2008.10.01 ~ 2009.03.31	「アジア太平洋地域におけるクルーズ客船寄港地としての沖縄の可能性」のテーマによりハワイ州東西センターにおいて研究を実施。
2	赤嶺 守	琉球大学法文学部教授	2009.03.28 ~ 2009.09.27	「琉球大学とハワイ大学との連携による沖縄学研究環境の構築とネットワーク形成」のテーマによりハワイ州東西センターにおいて研究を実施。

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 39,345,937 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	SHOJI, Rafael	サンパウロカトリック大学 研究員	ブラジル	南山大学	2007. 05. 27 ~ 2008. 05. 25	日系ブラジル人のキリスト教：国際ネットワークと日本における社会的な統合
2	PORTILLO RODRIGUEZ, Manuel	モンテレイ工科大学 メキシコシティ校 教授	メキシコ	東京大学	2007. 06. 02 ~ 2008. 05. 27	日本の都市開発への市民社会の参加について
3	LIPPIT, Miya Elise Mizuta	南カリフォルニア大学 美術史学科 非常勤講師	米国	東京大学 大学院人文社会系研究科	2007. 06. 08 ~ 2008. 06. 07	影からイルミネーションへ：美術・文学と近代日本の電化
4	ABI-SAMARA, Raquel	ブラジル国立科学技術開発評議会 研究者	ブラジル	国際日本文化研究センター	2007. 07. 02 ~ 2008. 06. 01	都市風景と現代日本詩
5	YANG, X. Jie	カルガリー大学 教授	カナダ	立教大学文学部	2007. 08. 22 ~ 2008. 04. 21	絵巻音読に関する基礎研究
6	HELLYER, Robert Ingels	ウェイクフォレスト大学 助教授	米国	東京大学史料編纂所	2007. 08. 30 ~ 2008. 08. 08	緑茶：日本の産業化や国際化
7	WHITE, Merry Isaacs	ボストン大学 教授	米国	金沢大学	2008. 02. 15 ~ 2008. 06. 14	社会的空間と変化する都市生活：日本のカフェ社会
8	SANTANA, Martin	経営管理大学院 教授	ペルー	早稲田大学	2008. 03. 26 ~ 2009. 03. 09	Eガバメントへの道：ペルーにおけるガバナンス及びパブリック・マネジメントの向上
9	DVORAK, Gregory Eric	オーストラリア国立大学 アジア太平洋研究科 研究員	オーストラリア	東京大学	2008. 06. 01 ~ 2008. 09. 25	南洋ノスタルジア～日本の太平洋における過去の記憶と「環礁」～
10	NEGAWA, Sachio	ブラジリア大学 助教授	ブラジル	早稲田大学大学院	2008. 07. 13 ~ 2009. 02. 26	日本の教育文化の越境・再創・展開ーブラジルにおける日系教育機関を中心にー
11	WHITMAN, John Bradford	コーネル大学 教授	米国	東京大学大学院人文社会系研究科	2008. 08. 16 ~ 2009. 07. 21	平安初期訓点資料の比較研究

米州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
12	HORI, Genichi Victor	マギル大学 准教授	カナダ	南山大学	2008.08.23 ~ 2008.12.15	翡翠：禅における言語・経験そして研究
13	ZAMBRANO MEZA, Gregory Simon	ロス・アンデス大学 教授	ベネズエラ	東京大学	2008.09.06 ~ 2009.09.05	「個人という概念の危機－安部公房とガブリエル・ガルシア・マルケスの小説世界」
14	TIAMPO, Ming	カールトン大学 准教授	カナダ	慶応大学	2008.10.01 ~ 2009.09.30	具体のカルトグラフィ（活動地図）
15	KAWANO, Satsuki	グエルフ大学 准教授	カナダ	早稲田大学	2008.12.28 ~ 2009.04.27	現代日本における家族形成過程の社会文化的分析：未就学児のいる両親が第二子を授かろうとする際に利用可能なリソースの認知
16	ANDERSON, David	ブリティッシュ・コロンビア大学 准教授	カナダ	神戸学院大学	2009.01.01 ~ 2009.06.30	2005年愛知万博訪問者の記憶：長期間にわたる記憶の心理学的研究
17	MURPHY, Joseph A.	フロリダ大学 准教授	米国	横浜国立大学	2009.01.06 ~ 2009.08.13	無用/有用-日本近代における「戯れ」と文学
18	KATADA, Saori	南カリフォルニア大学 准教授	米国	早稲田大学	2009.03.20 ~ 2009.07.19	つぎはぎ地域主義？日本と東アジアの新しい経済関係
19	WALTHALL, Anne	カリフォルニア大学アーバイン校 教授	米国	国際基督教大学	2009.03.30 ~ 2009.07.29	信仰の実施-平田家の歴史（1800-1945）
20	SAITO, Satoru	ラトガース大学 助教授	米国	早稲田大学	2009.03.31 ~ 2010.01.06	十九世紀末・二十世紀初における日本の連載小説と文学の消費

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [米州]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 74,015,721 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	KUNIMOTO, Thalia Namiko Athena	カリフォルニア大学 バークレイ校 博士課 程	カナダ	上智大学	2007.06.15 ~ 2008.08.14	太陽の肖像：具体派の美術における暴力と国民性
2	PITA CESPEDES, Gustavo	エル・コレヒオ・デ・ メヒコ 博士課程	キューバ	筑波大学	2007.07.28 ~ 2008.09.27	明治から昭和にかけての日本社会の発展に武士道精神が与えた影響
3	MENDEZ VAZQUEZ, Marcela Ines	エル・コレヒオ・デ・ メヒコ アジア・アフ リカ研究センター日本 科 博士課程	アルゼンチン	慶應義塾大学	2007.08.04 ~ 2008.09.01	多様性の調整—現代日本におけるラテンアメリカの日系人および政治的想像体
4	PALMER, Jesse D.	カリフォルニア大学 アーバイン校 博士課 程	米国	東京大学史料編 纂所	2007.08.30 ~ 2008.08.29	円仁：日本の学問僧と平安時代に於ける唐文化
5	HOFER, Franz D.	コーネル大学 博士課 程	カナダ	名古屋大学学院	2007.09.04 ~ 2008.11.03	歴史の事実を作る：戦後日本とドイツのトラウマ的な過去のビジュアル表現
6	WALLEY, Akiko	ハーバード大学 博士 課程	米国	東京大学史料編 纂所	2007.09.11 ~ 2008.08.28	法隆寺西院伽藍再考—伽藍配置及び堂内総力の意義について
7	NANTAIS, Simon Michel	ビクトリア大学 博士 課程	カナダ	立命館大学	2007.09.28 ~ 2008.08.31	米軍占領下の在日韓国人
8	YOSHITAKE, Mika Monique	カリフォルニア大学ロ サンゼルス校 博士課 程	米国	多摩美術大学	2007.12.02 ~ 2008.07.01	太陽へのレクイエム：戦後日本における「もの派」「美共闘」の活動(1968-1974)
9	O' DAY, Robin	ブリティッシュ・コロ ンビア大学 博士課程	カナダ	上智大学	2007.12.31 ~ 2009.02.28	日本再構築：若年層における雇用率の低下と社会運動の出現
10	BLACK, Matthew Douglas	コロンビア大学 博士 課程	米国	一橋大学	2008.03.16 ~ 2009.03.14	解明の9か条：日本の社会運動
11	TONGU, Erica Ayaco Sacata	サンパウロ州 教育監 理官	ブラジル	上智大学	2008.05.17 ~ 2009.05.14	学校組織における民族性・国民性：日本におけるブラジル人学校とブラジルにおける日本人学校の比較研究

米州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
12	COOPER III, Tim Ervin	カリフォルニア大学 バークレー校 博士課程	米国	東京大学資料編 纂所	2008.06.24 ~ 2008.12.28	” The Making of a Shogun” の博士論研究
13	JACOBSON, Justin Price	ミネソタ大学 博士課程	米国	東京大学	2008.07.07 ~ 2009.07.06	日本の公共交通志向型都市開発：形式化されたマーケットと他の土地活用方法
14	TURINO RAMOS Liset	エル・コレヒオ・デ・メ ヒコ アジア・アフリ カ研究科 博士課程	メキシコ	立命館大学	2008.07.16 ~ 2009.09.15	狂言と笑いの世界：16世紀日本の滑稽の研究
15	KAFFEN, Philip James	ニューヨーク大学 博 士課程	米国	立教大学	2008.08.18 ~ 2009.08.10	終末論的なイメージの時代における暴力の働き：文化政治と現代日本の映画
16	KAMEI-DYCHE, Andrew Terence	南カリフォルニア大学 博士課程	米国	埼玉大学	2008.08.24 ~ 2009.08.23	近代日本思想文化の形成における岩波書店の 役割：1913-1965
17	LINDSAY, Ethan Claude	プリンストン大学 博 士課程	米国	関西大学 国際 部	2008.09.01 ~ 2009.05.31	平安末期と鎌倉時代における高野山
18	EASON, Paul Vincent	プリンストン大学 博 士課程	米国	九州大学	2008.09.04 ~ 2009.09.03	福岡の創造と製造：二十世紀日本の地方と発 展
19	FLEMING, William David	ハーバード大学 博士 課程	米国	大阪商業大学	2008.09.10 ~ 2009.08.24	近代初頭日本における平賀源内（1728- 1780）、森島忠料（1754-1810）及び戯作と 蘭学の交差
20	BRONSON, Adam Paul	コロンビア大学 博士 課程	米国	東京大学大学院	2008.09.14 ~ 2009.09.13	民主主義・科学・日常性：思想の科学研究会 と戦後日本、1946-1996
21	DOWDLE, Brian C	ミシガン大学 博士課 程	米国	日本大学	2008.09.18 ~ 2009.09.17	歴史再認識：明治日本における時代小説と歴 史認識
22	SHOCKEY, Nathan Powell	コロンビア大学 博士 課程	米国	早稲田大学	2008.10.01 ~ 2009.09.30	1920-1950年の日本における読む技術と文学 上の暴力
23	KHARIN, Ilya Nikolayevich	プリンストン大学 博 士課程	米国	大阪大学	2008.10.02 ~ 2009.09.30	日本正教会の発生
24	KELLEY, Erin Eileen	ペンシルバニア州立大 学 博士課程	米国	学習院大学	2008.10.07 ~ 2009.04.06	近代との葛藤：雑誌「白樺」と日本の前衛芸 術
25	GLADE, Jonathan	シカゴ大学 博士課程	米国	東京大学	2008.10.16 ~ 2009.10.15	文学の戦場—社会統制と戦う日本語文学 1937-1953
26	NETTLETON, Taro Edward Fergus	ロチェスター大学 博 士課程	米国	多摩美術大学	2008.10.31 ~ 2009.10.30	書を捨てよ、町へでよう：1960年代日本の 前衛芸術における主体性と空間の関係性につ いて

米州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
27	BUSHNELL, Cade Conlan	ハワイ大学 博士課程	米国	筑波大学	2008.11.05 ~ 2009.11.04	「日本人」としてのアイデンティ構築：超級日本語非母語話者における相互作用の会話分析
28	LAW, Ricky Wai-Kei	ノースカロライナ州立大学 博士課程	米国	東京大学	2009.01.10 ~ 2010.01.09	両大戦の間の日独関係
29	GEDACHT, Anne Gibling	ウィスコンシン大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.01.17 ~ 2010.01.15	東北移民の社会ネットワーク
30	LAZOPOULOS, George	カリフォルニア大学 博士課程	米国	上智大学	2009.03.24 ~ 2010.03.23	第二の維新：昭和の進歩的なナショナリズム
31	YOKOTA, Ryan Masaaki	シカゴ大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.03.25 ~ 2010.03.24	沖縄のナショナリズム：独立と自治、ディアスポラと先住民主義
32	STARLING, Jessica Dawn	バージニア大学 博士課程	米国	大谷大学	2009.03.29 ~ 2010.01.15	寺の女性：現代日本仏教における伝統と変容
33	LANDIS, Andrea Kay	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2009.03.30 ~ 2010.03.29	19世紀終わりから20世紀初頭にかけての東京の書籍市場地図

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ（短期） [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 11,087,277 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	JESSAMYN, Abel	ボーリンググリーン州立大学 准教授	米国		2008.05.23 ~ 2008.07.21	平和の国際主義-バンドン会議と東京オリンピック
2	ZIMMERMAN, Eve Kathleen	ウェルズリー大学 准教授	米国		2008.05.26 ~ 2008.07.19	現代女性文学における少女のイメージ：ウチとソト
3	MENDOZA MARTINEZ, Emma	コリマ大学 教授	メキシコ	宇都宮大学	2008.06.21 ~ 2008.08.14	日本における政治参加の代替的形態
4	EVERETT, Yayoi Uno	エモリー大学 准教授	米国		2008.07.30 ~ 2008.08.19	戦後前衛芸術音楽及び映画
5	ALEXANDER, Jeffrey William Scott	ウィスコンシン大学 准教授	カナダ		2008.07.02 ~ 2008.07.31	ビール醸造の成功：戦後復興と日本ビール会社の成長

米州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
6	PHILIPS, Quitman E.	ウィスコンシン大学 教授	米国		2008.08.15 ~ 2008.10.13	酒呑童子と十六世紀から十七世紀までの日本の妖怪についての解釈
7	KRAUSS, Ellis S.	カリフォルニア大学サンディエゴ校 教授	米国		2008.09.28 ~ 2008.11.01	総理－日本の総理大臣の役割
8	KIM, Marie Seong-Hak	セントクラウド州立大学 教授	米国		2008.12.06 ~ 2009.02.02	二つの民法典編纂：明治日本と韓国での梅謙次郎の法制度改革
9	ONO, tsuyoshi	アルバータ大学東アジア学科 准教授	カナダ		2008.12.10 ~ 2009.01.17	池間プロジェクト：音声・映像による文法と談話の記録
10	TOKU, Masami	カリフォルニア州立大学チーコ校 助教授	米国		2008.12.27 ~ 2009.01.27	日本ポップカルチャーパワー：近代若者社会におけるヴィジュアルリテラシーへの影響と貢献
11	TAKEDA, Kayoko	モントレイ国際大学 翻訳通訳大学院 助教授	米国		2009.01.05 ~ 2009.01.25	東京裁判における通訳
12	LEE, Sonya Sum-yin	南カリフォルニア大学 教授	米国		2009.01.24 ~ 2009.02.23	生き残る涅槃：中国芸術における仏陀の死と変容
13	MORIMOTO, Risa	エッジウッドピック チャズ 監督	米国		2009.03.29 ~ 2009.04.27	イサム・ノグチ

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (5) 知的リーダー交流（派遣） [米州]

日本と諸外国の知的対話の推進と、知的リーダー間のネットワーク構築・強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 813,627 円

	氏名	現職	対象国	対象機関	時期	事業内容
1	大原 盛樹	日本貿易振興機構アジア経済研究所副主任調査研究員	カナダ	センター・フォー・インターナショナル・ガバナンス・イノベーション (CIGI)	2008.10.23 ~ 2008.10.28	カナダ・ウォータールー市で開催される国際会議「変化する世界秩序における中国」に大原盛樹（アジア経済研究所副主任研究員）をディスカッサントとして派遣

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (主催) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 3,560,006 円

	事業名	対象国	会場	期間	事業内容
1	米国における日本美術シンポジウム	米国	ニューヨーク・ジャパン・ソサエティ	2009.03.16	ジャパン・ソサエティとの共催により「米国における日本美術；新しい時代のために」と題するシンポジウムを開催。計110名が参加。日本側からは国立新美術館館長、文化庁専門官等が参加。米国からはニューヨーク近代美術館主任キュレーター、フィラデルフィア美術館、ボストン美術館、スミソニアン内フリーア・ギャラリー、サンフランシスコ美術館、ポートランド美術館、ピーボディ美術館、イサム・ノグチ美術館等全米有数の美術館の専門家が出席。

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 18,323,376 円

	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	サンパウロ・カトリック大学	ブラジル	2008.08.24 ~ 2008.08.27	日本移民百周年を記念するプログラム。日本、メキシコ、米国及び欧州から学者を招へいし、アカデミックなレベルでブラジルにおける日本の宗教の100年史とその過去、現在、未来を分科会方式で検証。
2	リオデジャネイロ連邦大学文学部	ブラジル	2008.08.28 ~ 2008.08.29	日本語・日本文学・日本文化の研究に携わる教師、研究者、学生を対象に実施。最新の知識を得、日本語教授法・日本語学習・日本文学や日本文化についての批判的な分析に関わる最新の概念や潮流についての知識の交換し、斬新な考察や、より専門的な知見を深めるために討論。
3	サンパウロ州立カンピーナス大学倫理学センター	ブラジル	2008.09.05 ~ 2008.09.06	科学は人類に多くの利点をもたらしたが、同時に多くの問題も発生させた。この点に関し、ブラジル、日本、ドイツから学者を招へいし、日本と他国の哲学思想を比較研究。日・ブラジル交流100周年を記念して実施。
4	日伯文化協会	ブラジル	2008.09.24 ~ 2008.09.26	自然環境の価値について、日本、ブラジルを中心に、社会学、経営学、倫理学といった多様な側面において研究者が研究報告を行うことによって、地球規模の環境問題を解決する上で必要な価値観を共有。
5	ブラジリア大学	ブラジル	2008.09.24 ~ 2008.09.26	日本・ブラジル関係をマルチディシプリンの視点から検証する。日本・ブラジル両国間の相互理解とより緊密な関係を促進。
6	源氏物語千年紀委員会	全世界区分困難	2008.11.02 ~ 2008.11.04	源氏物語が宿す日本文化の美と思想を改めて広く分かち合い後世に伝えるために、海外から研究者を招へいして会議を開催。
7	コリマ大学政治社会学部	メキシコ	2008.11.09 ~ 2008.11.13	メキシコ現代社会の中でも重要性を増してきた政策決定プロセスへの市民（主にNGO）参加に関する研究。日本、米国、メキシコの大学が参加。研究者同士が情報交換のために相互利用するwebサイトを構築。